

がん診療提供体制について

厚生労働省健康局
がん・疾病対策課

がん診療連携拠点病院: 405か所

- 都道府県知事はその診療機能等が高いものとして推薦し指定の検討会で指定される。
- 高い診療機能、多様な治療法、緩和ケアの提供に加え、地域連携の推進、セカンドオピニオンの提示等に対応する。

都道府県がん診療連携拠点病院(51か所)



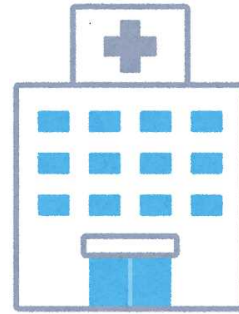
- 都道府県における中心
- 都道府県下の拠点病院等のとりまとめ

国立がん研究センター(2か所)



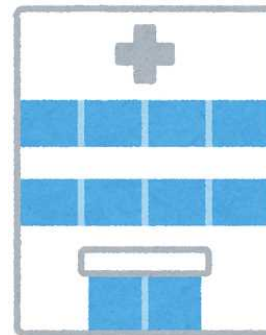
- がん対策の中核的機関としてがん医療を牽引
- 都道府県拠点病院と連携し連絡協議会を開催

地域がん診療連携拠点病院(351か所*)



- がんの医療圏に原則1か所整備
- 専門的ながん医療の提供・連携体制の整備

特定領域がん診療連携拠点病院(1か所)



- 特定のがんについて都道府県内で最も多くの患者を診療

地域がん診療病院: 46か所

- がん診療連携拠点病院のない医療圏でがん医療を担う。
- がん診療連携拠点病院とグループ指定を受ける。

地域がん診療病院(46か所)

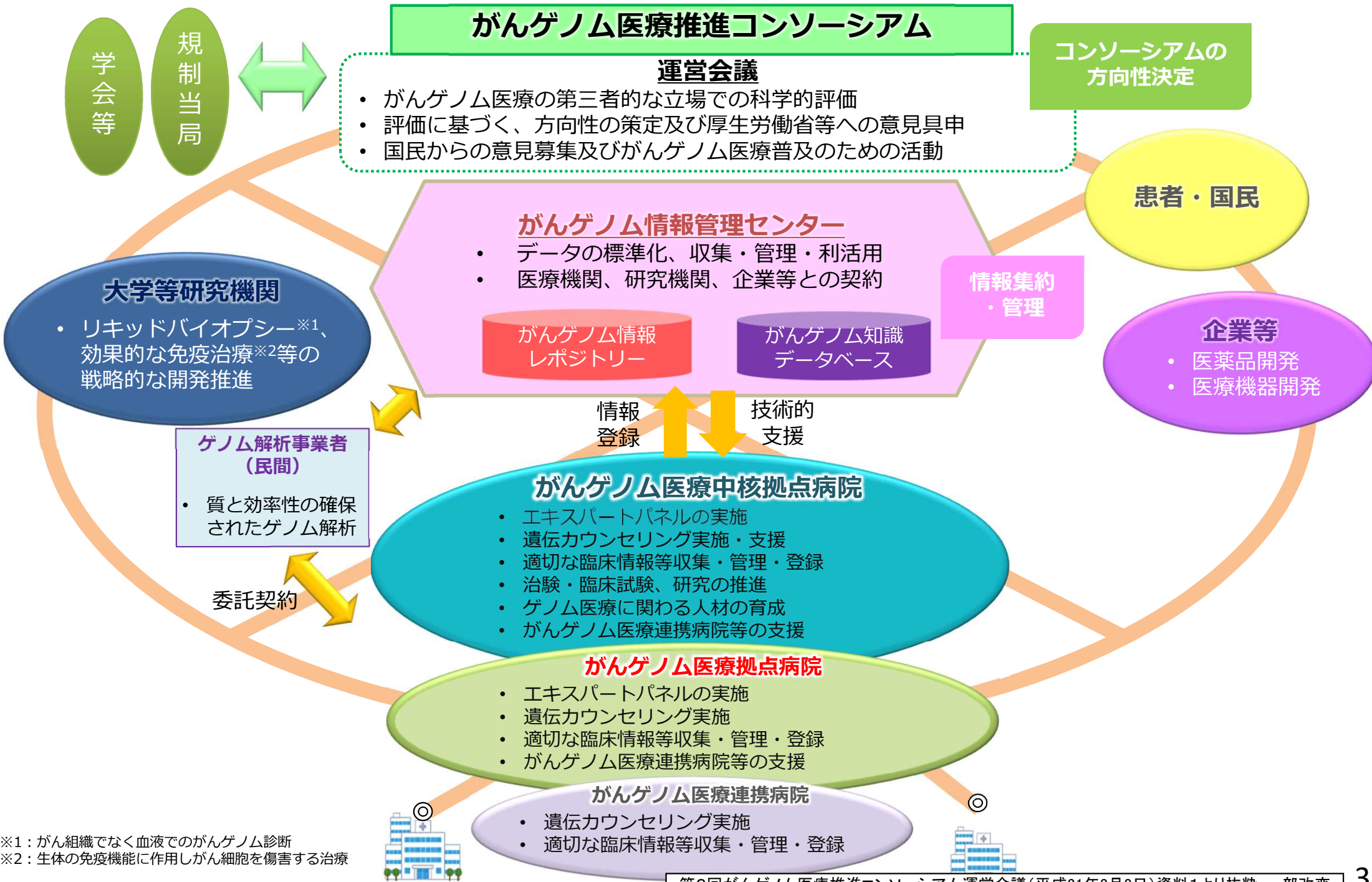


- がん診療連携拠点病院のないがんの医療圏に1か所整備

* 地域がん診療連携拠点病院の中には更に
類型が3つある。

地域がん診療連携拠点病院(高度型): 51か所
地域がん診療連携拠点病院: 298か所
地域がん診療連携拠点病院(特例型): 2か所

がんゲノム医療推進コンソーシアムの体制と役割



※1：がん組織でなく血液でのがんゲノム診断
 ※2：生体の免疫機能に作用しがん細胞を傷害する治療



がんゲノム医療連携病院 (183カ所)

がんゲノム医療連携病院（183か所）

令和3年10月1日時点

都道府県	がんゲノム医療連携病院	都道府県	がんゲノム医療連携病院	都道府県	がんゲノム医療連携病院	都道府県	がんゲノム医療連携病院			
北海道	札幌医科大学附属病院	東京都	東京慈恵会医科大学附属病院	長野県	長野市民病院	大阪府	大阪医療センター			
	函館五稜郭病院		NTT東日本関東病院	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院		大阪医科大学附属病院	広島県	福山市市民病院	
	旭川医科大学病院		虎の門病院		木沢記念病院		大阪赤十字病院		福山医療センター	
	恵佑会札幌病院		国立国際医療研究センター病院		岐阜県総合医療センター		大阪急性期・総合医療センター		JA広島総合病院	
	手稲溪仁会病院		日本大学医学部附属板橋病院		岐阜市民病院		市立東大阪医療センター		JA尾道総合病院	
	札幌厚生病院		武蔵野赤十字病院		大垣市民病院		大阪市立大学医学部附属病院		東広島医療センター	
	青森県		青森県立中央病院		日本赤十字社医療センター		岐阜県立多治見病院		大阪労災病院	広島赤十字・原爆病院
岩手県			東京都立多摩総合医療センター	静岡県	総合病院聖隷三方原病院		徳山中央病院			
宮城県	東京都立小児総合医療センター		浜松医科大学医学部附属病院		堺市立総合医療センター		山口県		山口大学医学部附属病院	
秋田県	秋田大学医学部附属病院		昭和大学病院		総合病院聖隷浜松病院		大阪南医療センター		岩国医療センター	
山形県	山形県立中央病院		東京医科大学八王子医療センター		浜松医療センター	市立岸和田市民病院	徳島県		徳島大学病院	
	日本海総合病院		北里大学病院		静岡県立総合病院	市立豊中病院	香川県	香川県立中央病院		
福島県	福島県立医科大学附属病院		横浜国立大学附属病院		静岡県立こども病院	和泉市立総合医療センター		香川労災病院		
	茨城県		茨城県立中央病院		神奈川県立こども医療センター	兵庫県		神戸市立医療センター中央市民病院	高松赤十字病院	
総合病院土浦協同病院		横浜市立市民病院	姫路赤十字病院		愛媛県		愛媛大学医学部附属病院			
栃木県	栃木県立がんセンター	横浜市立大学附属市民総合医療センター	関西労災病院				愛媛県立中央病院	高知県	愛媛県立中央病院	
	獨協医科大学病院	横須賀共済病院	兵庫県立こども病院		松山赤十字病院					
群馬県	自治医科大学附属病院	昭和大学横浜市北部病院	奈良県	奈良県立医科大学附属病院	福岡県		九州医療センター			
	群馬県立がんセンター	藤沢市民病院		近畿大学医学部奈良病院			福岡大学病院			
埼玉県	群馬大学医学部附属病院	横浜市立みなと赤十字病院		天理よろづ相談所病院	奈良県総合医療センター		佐賀県	北九州市立医療センター		
	埼玉医科大学総合医療センター	横浜労災病院		奈良県総合医療センター	福岡県立中央病院					
	埼玉県立小児医療センター	愛知県		和歌山県立医科大学附属病院	日本赤十字社和歌山医療センター			産業医科大学病院		
	獨協医科大学埼玉医療センター			新潟県立がんセンター新潟病院	和歌山県立医科大学附属病院		鳥取大学医学部附属病院	済生会福岡総合病院		
さいたま赤十字病院	新潟市民病院			鳥取県立中央病院	鳥取県立中央病院	聖マリア病院				
千葉県	千葉大学医学部附属病院			長岡赤十字病院	鳥取県	島根県	佐賀県	佐賀大学医学部附属病院		
	亀田総合病院			富山県立中央病院				島根県立中央病院	佐賀県医療センター好生館	
	順天堂大学医学部附属浦安病院			石川県		金沢医科大学病院	松江市立病院	熊本県	熊本大学病院	
	国保旭中央病院		福井県	石川県立中央病院		松江赤十字病院	済生会熊本病院			
東京都	杏林大学医学部附属病院		福井県立病院	滋賀県		岡山県	大分県	大分大学医学部附属病院		
	聖路加国際病院		福井赤十字病院					滋賀医科大学医学部附属病院	川崎医科大学附属病院	大分県立病院
	帝京大学医学部附属病院		山梨県立中央病院					滋賀県立総合病院	岡山医療センター	宮崎県
	東京医科大学病院	山梨大学医学部附属病院	京都府立医科大学附属病院					岡山赤十字病院	長崎県	佐世保市総合医療センター
	東京医療センター	長野県	京都第一赤十字病院			広島市民病院	長崎医療センター			
	東邦大学医療センター大森病院		長野赤十字病院			京都市立病院	広島県	鹿児島県	相良病院	
	東京女子医科大学東医療センター		佐久総合病院佐久医療センター		京都医療センター	県立広島病院			鹿児島市立病院	
	順天堂大学医学部附属順天堂医院		諏訪赤十字病院		京都桂病院	呉医療センター	沖縄県	琉球大学医学部附属病院		
	日本医科大学付属病院		社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院		京都第二赤十字病院	安佐市民病院				
			伊那中央病院		大阪府	関西医科大学附属病院				

小児がん中央機関と拠点病院・連携病院の概要

アドバイザリー・ボード

小児がん中央機関

国立成育医療研究センター

- ◎相談支援の向上に関する体制整備
(小児及びAYA世代のがん)
- 情報提供(小児及びAYA世代のがん)
- ◎診断支援(放射線診断、病理診断等)
- ◎小児がんの登録体制の整備
- ◎人材育成(医師、看護師、心理士等)
- ◎小児がん拠点病院連絡協議会事務局

国立がん研究センター

- ◎情報提供(小児及びAYA世代のがん)
- 小児がんの登録体制の整備
(院内がん登録実施支援)
- 人材育成(がん専門相談員
基礎研修、院内がん登録実務者)

小児がん拠点病院連絡協議会

地域ブロック協議会

小児がん拠点病院

小児がん拠点病院

小児がん連携病院
(地域の小児がん診療)

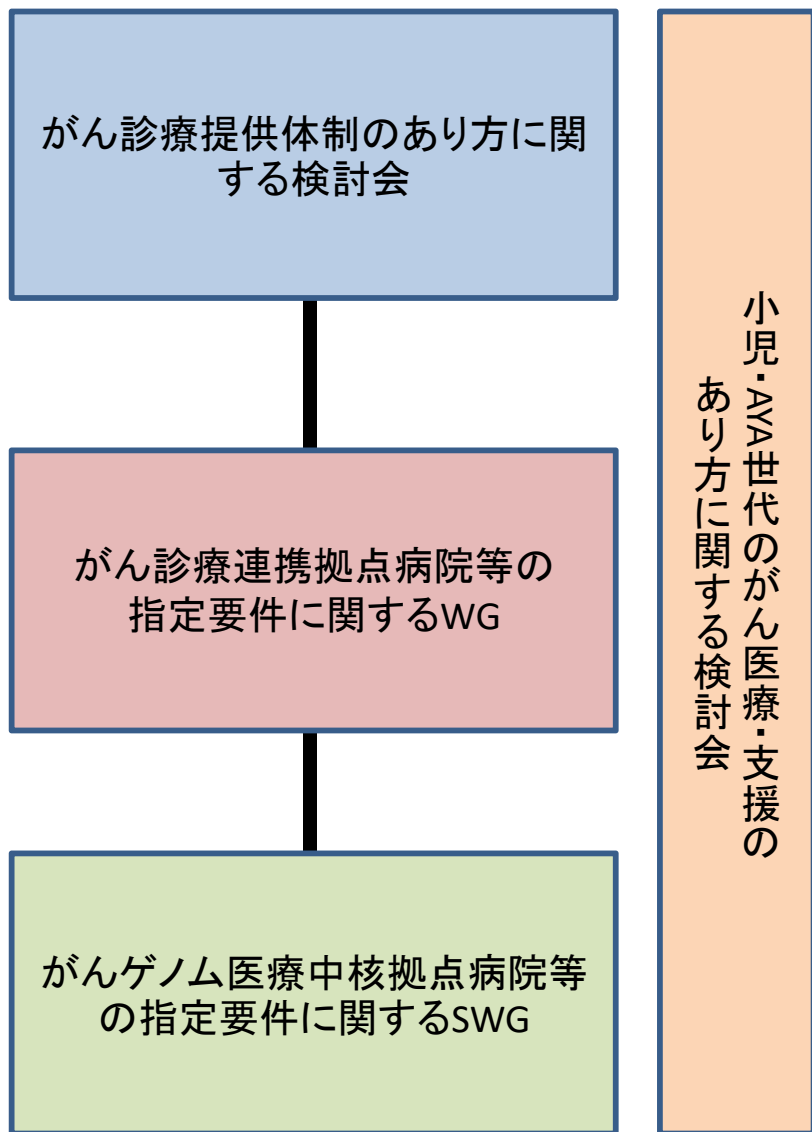
小児がん連携病院
(特定のがん種等の診療)

小児がん連携病院
(長期フォローアップ)

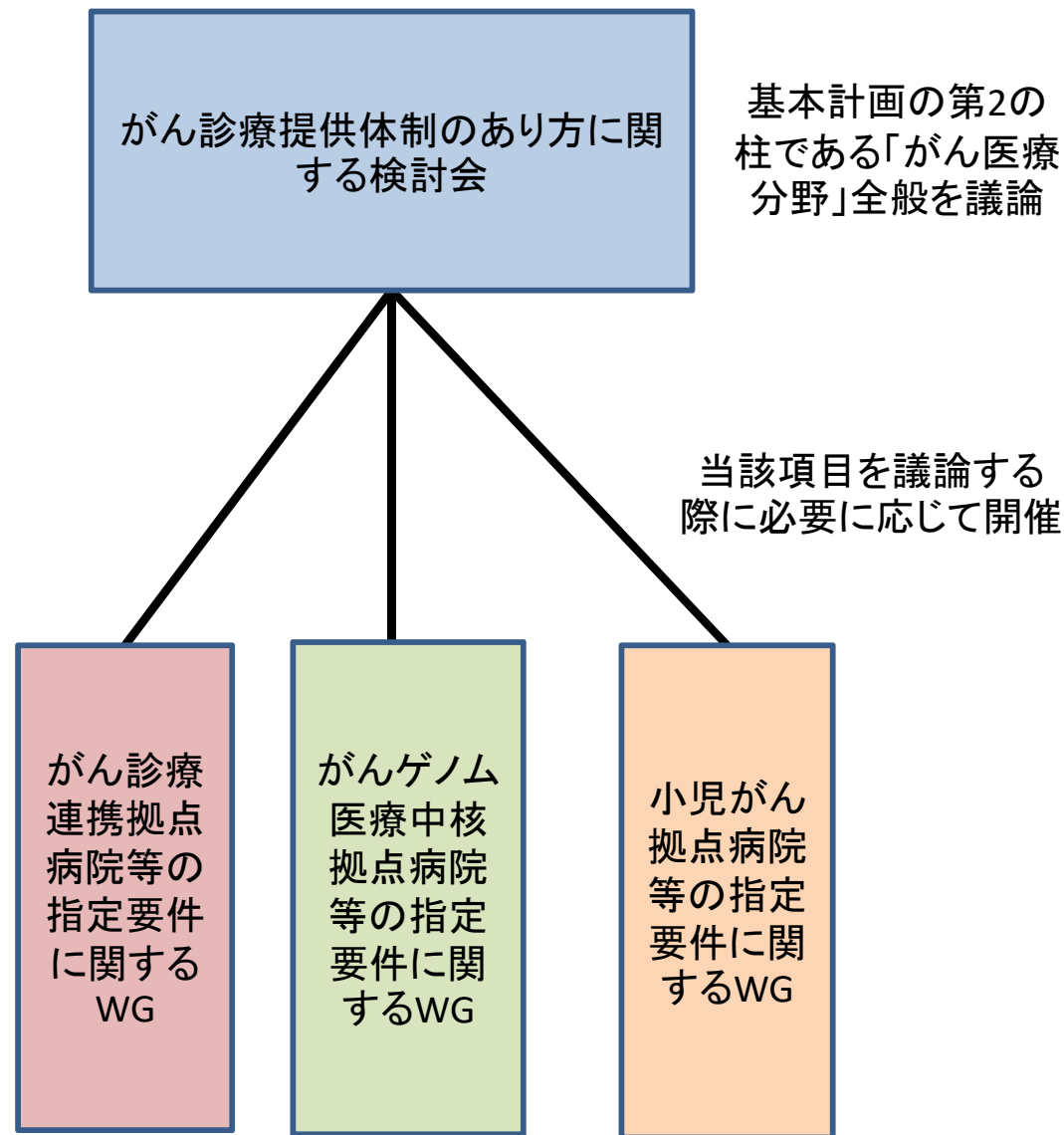
小児がん拠点病院15か所、小児がん連携病院146か所(令和3年10月1日時点)

現在および今後のがん診療提供体制のあり方に関する検討会について

これまで



今後



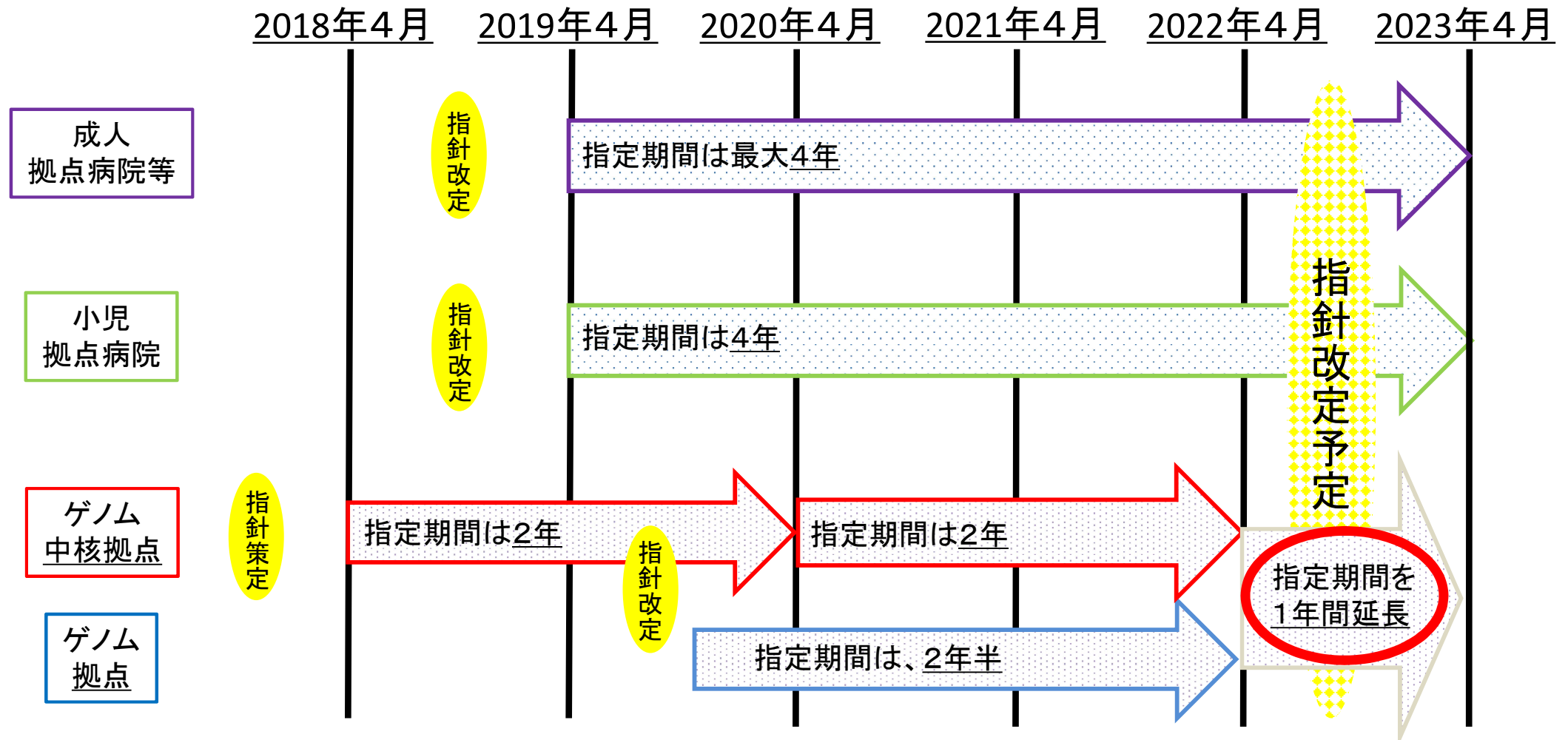
各拠点病院等の指針改定と指定期間について(案)

<論点>

- ・ がんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療拠点病院については、今年度中に指針を改定したうえで、来年度より新規指定を行う予定としていたところ。
- ・ 他方、ゲノム医療については、遺伝子パネル検査が保険収載されるなどしているものの、医療提供に必要な体制等につき大きな変化はない。
- ・ また、今後の活用が期待される全ゲノム解析等について、医療機関に求められる機能・役割等の議論が正に現在進められている状況である。

<対応案>

- ・ 全ゲノム解析等の医療実装も見据えた体制とするため、がんゲノム医療中核拠点病院等の指針改定は、来年度に行うこととしてはどうか。
- ・ それにともない、現在指定されているがんゲノム医療中核拠点病院・拠点病院の指定期間を、一年間延長してはどうか。



今後のスケジュールについて(案)

<論点>

- 令和4年度に指定要件の改定が想定される中、医療機関側の体制整備に要する時間を確保する観点から、改定後の整備指針については、来年度のうち一定程度早期のタイミングで方向性を確定することが必要である。

(※) 拠点病院等の指定については、整備指針の内容に基づいて各都道府県や各医療機関から申請を受け付け、拠点病院等の指定の検討会において、指定の検討をおこなう。

- | | | |
|---|----------|------------------------------------|
| ┌ | 都道府県から申請 | → 「がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会」において検討 |
| | 医療機関から申請 | → 「がんゲノム医療中核拠点病院等の指定に関する検討会」において検討 |
| | 医療機関から申請 | → 「小児がん拠点病院等の指定に関する検討会」において検討 |

<対応案>

- 以上を踏まえ、各WGでの指定要件に関する検討を令和4年7月頃までに行い、その後、本検討会において方針を決定し、改定した整備指針を発出する予定としてはどうか。

(※) 各WGや本検討会については、持ち回り開催等も含めて柔軟に開催する。

がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するWG 委員名簿

氏名	役職・所属
大西 洋	国立大学法人山梨大学医学部 放射線医学講座 教授
久保 祐子	公益社団法人日本看護協会 看護開発部 部長
小寺 泰弘	国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学 教授
鈴木 直	学校法人聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授
田村 恵子	国立大学法人京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 先端中核看護科学講座緩和ケア看護学分野 教授
津端 由佳里	国立大学法人島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 診療教授
藤 也寸志	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター 院長
早坂 由美子	公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 理事
東 尚弘	国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター センター長
増田 しのぶ	学校法人日本大学医学部 病態病理学系腫瘍病理学分野 教授
増田 昌人	国立大学法人琉球大学病院がんセンター センター長/診療教授
松本 陽子	NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会 理事長

がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するWGの進め方(案)

令和3年11月30日

がん診療連携拠点病院等の
指定要件に関するWG開始

複数回のWGの中で、
以下の内容等を検討。

- 診療体制
- 診療実績
- 研修の実施体制
- 情報の収集提供体制
- 臨床研究及び調査研究
- 連携・人材育成
- 医療に係る安全管理

令和4年3月頃

がん診療連携拠点病院等の
指定に関する検討会
(※) 現行の整備指針での指定

6月頃

がん診療連携拠点病院等の
指定に関する検討会
(3月頃に行う検討会で積み残し
があった場合に開催予定)
(※) 現行の整備指針での指定

令和4年7月頃

がん診療提供体制のあり方に関する検討会

- 指定要件に関するWGでの検討内容を踏まえ、
方針を決定

改定した整備指針を発出

令和5年3月頃

がん診療連携拠点病院等の
指定に関する検討会
(※) 改定後の整備指針での指定

がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に関するWG 委員名簿

氏名	役職・所属
織田 克利	国立大学法人東京大学大学院 統合ゲノム学 教授
金井 弥栄	学校法人慶應義塾大学医学部 病理学教室 教授
坂田 麻実子	国立大学法人筑波大学 血液内科 准教授
土原 一哉	国立研究開発法人国立がん研究センター 先端医療開発センター トランスレーショナルインフォマティクス分野長
中釜 斉	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
中島 貴子	国立大学法人京都大学医学部附属病院 次世代医療・iPS細胞治療研究センター 教授
菱木 知郎	国立大学法人千葉大学大学院医学研究院 小児外科学 教授
平沢 晃	国立大学法人岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座(臨床遺伝子医療学分野) 教授
吉田 輝彦	国立研究開発法人国立がん研究センター がんゲノム情報管理センター 副センター長
若尾 直子	NPO法人がんフォーラム山梨 理事長

がんゲノム医療中核拠点病院等の指定要件に関するWGの進め方(案)

令和3年12月21日

がんゲノム医療中核拠点病院等の
指定要件に関するWG開始

複数回のWGの中で、
以下の内容等を検討。

- 診療体制
- 診療実績
- 研修の実施体制
- 情報の収集提供体制
- 臨床研究及び調査研究
- 連携・人材育成
- 医療に係る安全管理
- 全ゲノム解析等への対応

令和4年7月頃

がん診療提供体制のあり方に関する検討会

- 指定要件に関するWGでの検討内容を踏まえ、
方針を決定

改定した整備指針を発出

令和5年1月頃

がんゲノム医療中核拠点病院等の
指定に関する検討会
(※)改定後の整備指針での指定

小児がん拠点病院等の指定要件に関するWG 委員名簿

氏名	役職・所属
小川 千登世	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 小児腫瘍科長
小俣 智子	学校法人武蔵野大学人間科学部 社会福祉学科 教授
笹月 桃子	学校法人西南女学院大学保健福祉学部 准教授 国立大学法人九州大学病院小児科 特任助教
滝田 順子	国立大学法人京都大学大学院医学研究科 発達小児科学 教授
竹之内 直子	小児がん看護学会 理事
舛本 大輔	全国小児がん経験者ネットワーク シェイクハンズ！ 副代表
松本 公一	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 小児がんセンター センター長
柳澤 隆昭	学校法人東京慈恵会医科大学脳神経外科学講座 教授
米田 光宏	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 小児外科系専門診療部 外科診療部長 小児がんセンター 副小児がんセンター長 腫瘍外科診療部長(併任) 国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 小児外科長

小児がん拠点病院等の指定要件に関するWGの進め方(案)

令和4年1月17日

小児がん拠点病院等の指定要件に関するWG開始

複数回のWGの中で、
以下の内容等を検討。

- ・ 診療体制
- ・ 診療実績
- ・ 研修の実施体制
- ・ 情報の収集提供体制
- ・ 臨床研究及び調査研究
- ・ 連携・人材育成
- ・ 医療に係る安全管理
- ・ 患者の発育及び教育環境

7月頃

がん診療提供体制のあり方に関する検討会

- ・ 指定要件に関するWGでの検討内容を踏まえ、
方針を決定

改定した整備指針を発出

令和5年2月頃

小児がん拠点病院等の
指定に関する検討会
(※)改定後の整備指針での指定